

平成25年度 事務事業評価調書（平成24年度実績分）

事務事業名		よさこいシリーズ観光宣伝事業			
所管部局	商工観光部	部局長名	中澤 慎二	予算事業名	よさこいシリーズ観光宣伝事業費
所管部署	観光振興課	所属長名	永野 哲也	予算事業科目(平成25年度)	010701060192

1 事業の位置付け

2011 高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け					
施策の大綱	04	地産の環	法定受託事務	施策取組方針	観光客や旅行代理店、マスコミなどに対して、効果的な観光情報を発信することにより、本市の魅力をアピールし、国内外からの観光客誘致に努めます。
政策	23	あったか土佐のおもてなし観光の充実			
施策	70	観光客誘致と情報発信			

2 事業の根拠・性格

法律・政令・省令	
県条例・規則・要綱等	
市条例・規則・要綱等	
その他(計画、覚書等)	(市計画)高知市総合計画2011(観光客誘致と情報発信)

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	プロ野球観客約3万人			
意図	どのような状態にしていくのか	高知市へのプロ野球キャンプの定着を図るとともに、観光客誘致に繋げていく。			
手段	事業実施体制等	オリックス・バファローズの本拠地である京セラドームでの観光宣伝業務を委託する。			
		事業開始年度 平成16年度 事業終了年度			
活動内容	どのような事業活動を行うのか	<ul style="list-style-type: none"> ●球場での観光宣伝ブースの設置、ドームビジョンを使用しての高知市PR ●入場者プレゼント及びアトラクション演出 ●始球式などのセレモニーの実施 			
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方		
	A	県外観光客の入り込み数	高知市単独での推計を行っていないため、高知県への県外客入り込み数の75%を指標とするもの		
	B				
	C				

4 事業の実績等

			22年度	23年度	24年度	25年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	県外観光客の入り込み数	目標 3,000千人	3,000千人	3,000千人	3,000千人	入り込み数は年次	
			実績 3,269千人	2,911千人	2,880千人			
	B		目標					
			実績					
	C		目標					
			実績					
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	2,000	2,000	2,000	2,000		
		財源内訳	国費 (千円)					
			県費 (千円)					
			市債 (千円)					
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)	2,000	2,000	2,000		2,000
	翌年度への繰越額 (千円)							
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	1,440	1,440	1,480	1,480		
		正規職員 (千円)	1,440	1,440	1,480	1,480		
		その他 (千円)						
		人役数 (人)	0.20	0.20	0.20	0.20		
		正規職員 (人)	0.20	0.20	0.20	0.20		
		その他 (人)						
	総コスト= ① + ② (千円)		3,440	3,440	3,480	3,480		
市民1人当たりコスト (円)		10	10	10				
年度末住民基本台帳人数 (人)		339,130	337,875	338,397				
					総コスト/年度末人口			

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

●入場者は23年度28,202人、24年度38,940人。これらの観客に向け、オリックス・バファローズのキャンプ地高知をPRし、さらに観光地高知をアピールすることができる場となっている。

6 所属長評価

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	5.0	本事業はオリックス・バファローズの本拠地である京セラドームで、高知市冠シリーズを実施することで球団関係者へのキャンプ誘致活動を行うとともに、観光地高知のPRを行うことを目的とし、本市の観光客誘致を目指すための事業であり、本市の総合計画に掲げる「観光客誘致と情報発信/観光プロモーションの推進」に合致している。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	A		
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	A	4.0	「土佐龍馬ふるさと博」や「志国龍馬ふるさと博」により得られた成果を土台に観光資源の底上げを図り、訪れた観光客の満足度向上を目指し、持続的な誘客を図ることで、平成24年に高知県を訪れた観光客は3,840千人（対前年比98.9%）となった。高知県の県外における認知度はまだまだ低く、本市の魅力をアピールすることで観光客誘致を図る。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	B		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	4.0	観光客誘致のための事業は、民間活力の利用が欠かせず、行政が積極的な姿勢を示しながら事業者・団体等と連携協力、役割分担をしながら実施していく必要がある。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	B		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	5.0	観光客増加に伴う経済波及効果は大きく多方面に好影響をもたらす。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合点	18.0	総合評価	<input type="radio"/> A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) <input type="radio"/> B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) <input type="radio"/> C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) <input type="radio"/> D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 部局長評価

総合評価	評価理由・今後の方向性等
<input checked="" type="radio"/> A 事業継続	プロ野球球団の沖縄キャンプが定着する中、オリックス・バファローズの本拠地であるキャンプ地高知をPRすることは、キャンプ地高知の名を知らしめるとともに、オリックスの高知キャンプの継続に向けた球団との結びつきの強化、観光客誘致に効果があると考え。
<input type="radio"/> B 経費削減に努め事業継続	
<input type="radio"/> C 事業縮小・再構築の検討	
<input type="radio"/> D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項